

アルミニウム合金製

安全柵

ANTB型

取扱説明書

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。

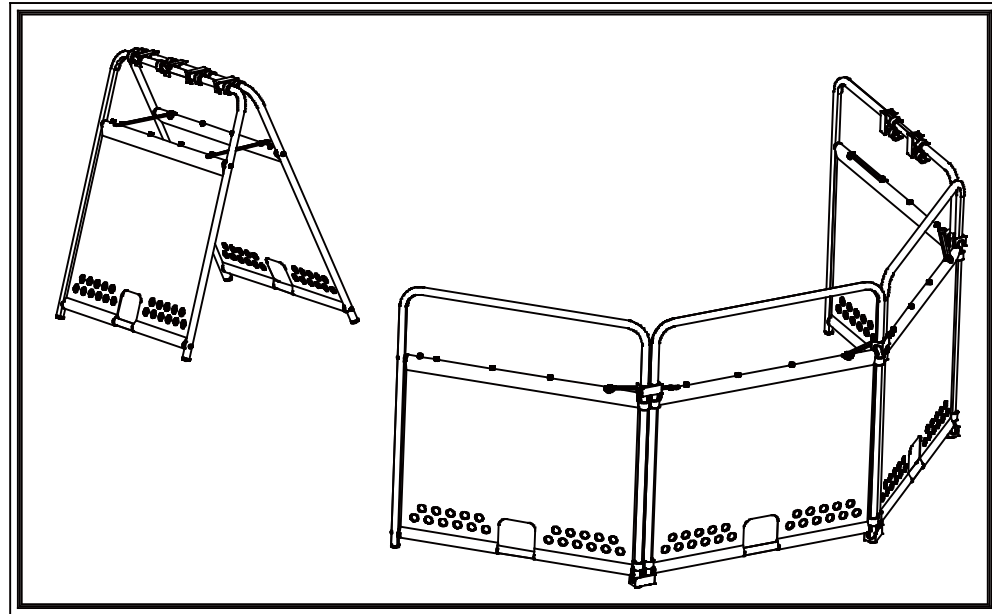
この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。

ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。

また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保存してください。



この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。



表示マークについて

取扱説明書に記載されている ⚠マーク付の説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

⚠危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

⚠警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

⚠注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。

このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

＜絵表示について＞

警告表示の要点が一目で理解できるように、取扱説明書の中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。

感電注意

持ち運びや、移動・設置時に、配電線に触れると、感電して危険であることを注意しています。

手をはさまないように注意

安全柵を組立てるときに、開閉部などで手をはさむ恐れがあることを注意しています。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

1. 使用条件について

警告 安全柵としての用途以外の使いかたをしないでください。

安全柵は、作業現場等での安全確保のために作られたものです。使いかたを誤ったり、用途以外の使い方をしますと、重大な事故が生じる恐れがあります。

注意 安全柵を加工や改造しないでください。

注意 取扱説明書の内容が理解できない人には使わせないでください。

この製品の取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと危険です。

注意 この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸しだしてください。

強制 取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ、使うように指導してください。

2. 運ぶときは

注意 持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

乱暴に扱うと、変形やヘコミ・破損の原因になります。

注意 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引張らないでください。

乱暴に扱うと、変形やヘコミ・破損の原因になります。

3. 設置する場所について

危険 設置するときや移動するときは、配電線に注意してください。

この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

注意 風の強い場所には、設置しないでください。

製品が転倒するなどして、破損する恐れがあります。

警告 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。

製品に気付かず、つまづくなどして、製品が破損したり、傷害事故が生じる恐れがあります。

注意 人の出入口やドアの前には、設置しないでください。

出入りする人や開けたドアで、製品が倒されて、製品が破損する恐れがあります。

4. 組立てるとき

注意 可動部や回転部などで手をはさまないように注意してください。

ケガをする恐れがあります。

注意 止め金具・クランプは、確実にロックしてください。

確実にロックしていないと、製品が転倒するなどして、破損する恐れがあります。

使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

安全柵にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

＜掃除のしかた＞

- ①汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。
- ②汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- ③油系の汚れは、クリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

注意

クリーナーや洗剤をつけたままにしていると腐食の原因になります。

2. 保管のしかた

- ①雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。
- ②本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

注意

- 保管中は、本製品の上にもものを置かないでください。変形の原因になります。
- 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。



製品の設置方法は、裏面を参照してください

安全柵の設置方法



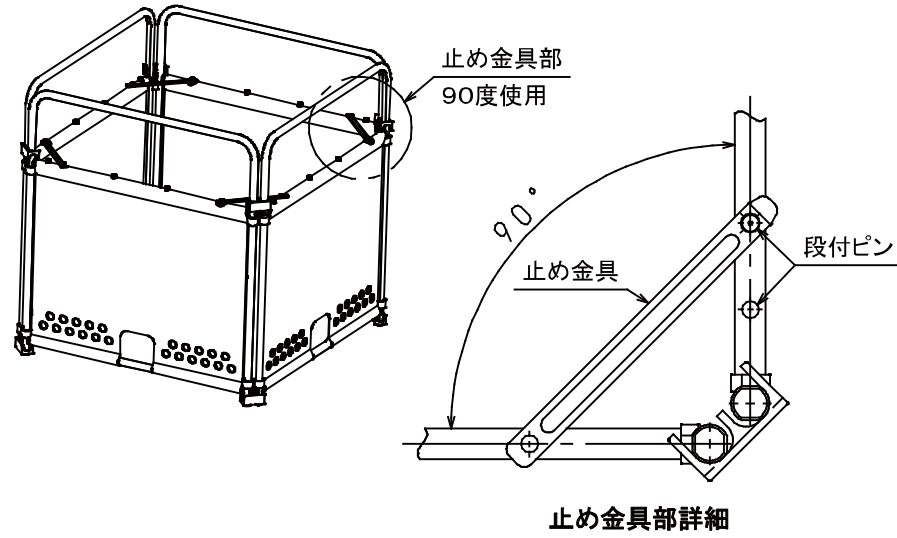
注意
設置時、可動部や回転部などで手をはさまないように注意してください。



1. 囲い型設置方法

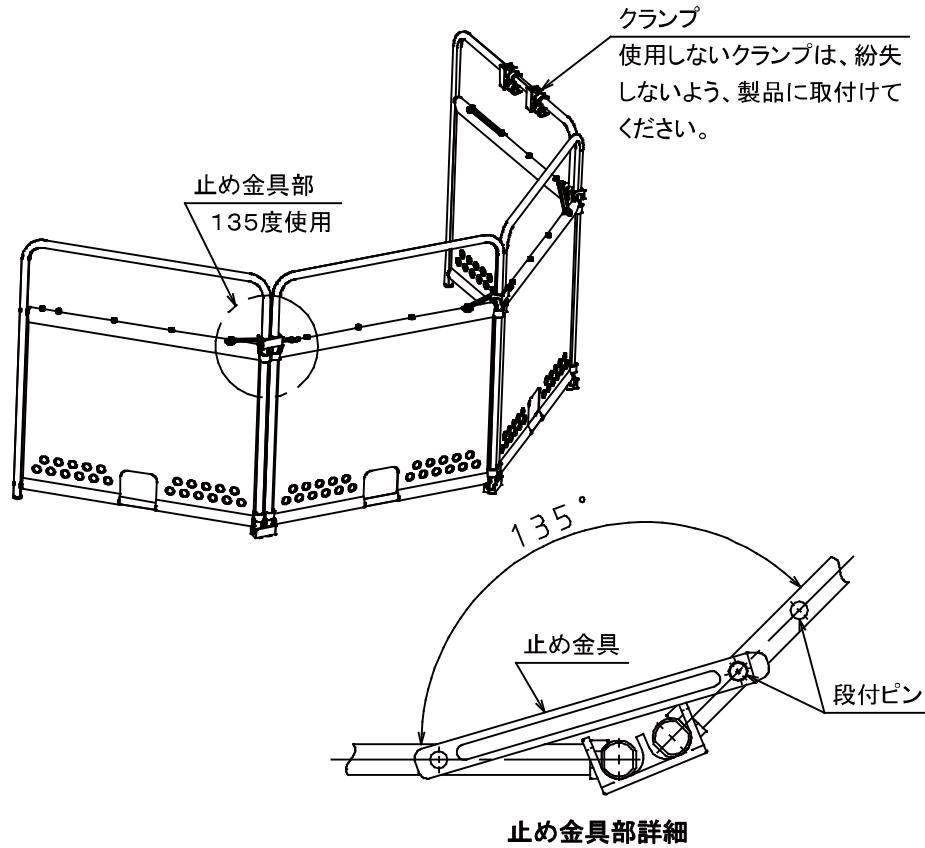
● 90度使用 (例: 四角囲い) の場合

図の位置にある段付ピンに止め金具を掛けてください。
止め金具を掛けた状態で、製品に無理な力を加えないでください。
製品や、止め金具が変形・破損する恐れがあります。



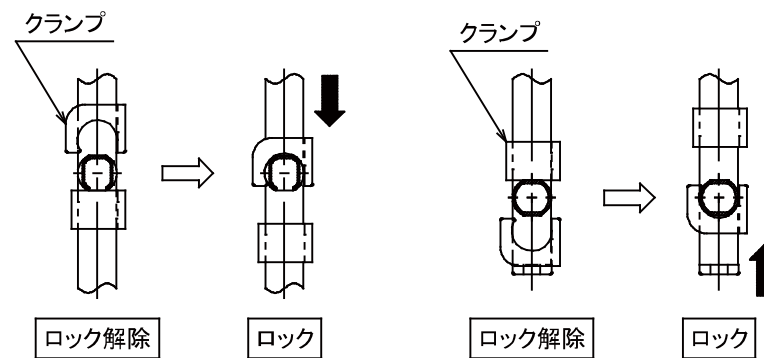
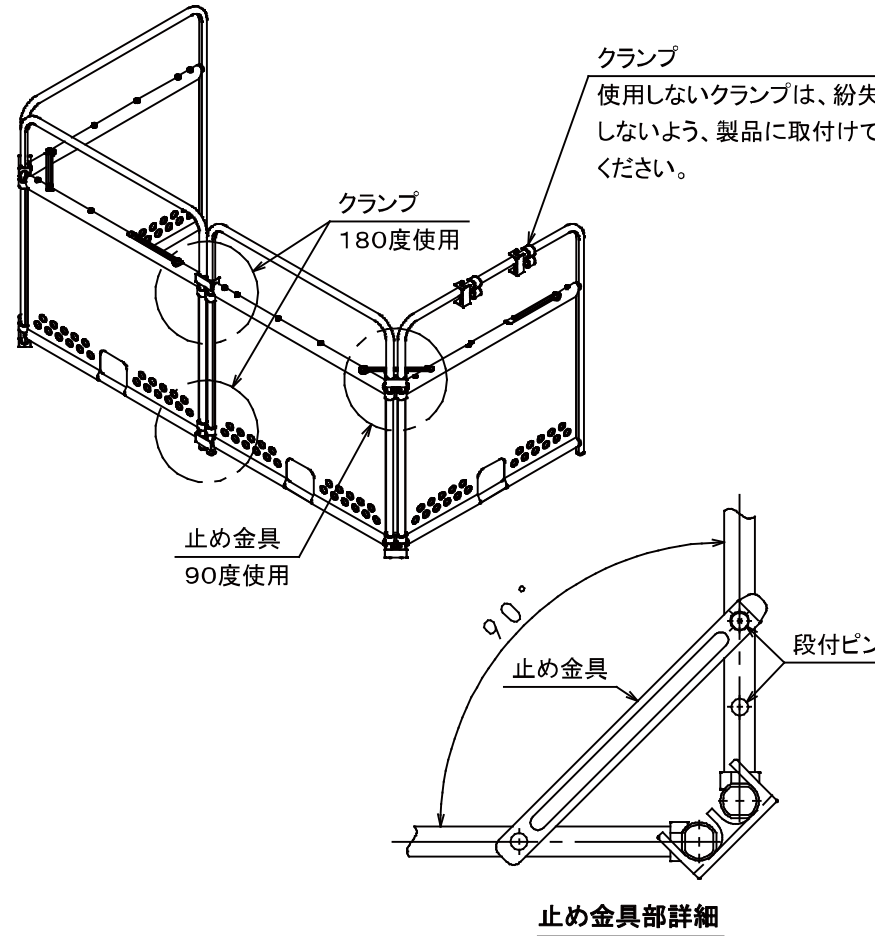
● 135度使用 (例: 扇型) の場合

図の位置にある段付ピンに止め金具を掛けてください。
止め金具を掛けた状態で、製品に無理な力を加えないでください。
製品や、止め金具が変形・破損する恐れがあります。



● 180度使用 (例: コの字型) の場合

図の位置にある段付ピンに止め金具を掛けて、クランプをロックしてください。
止め金具及びクランプを掛けた状態で、製品に無理な力を加えないでください。
製品や、止め金具、クランプが変形・破損する恐れがあります。



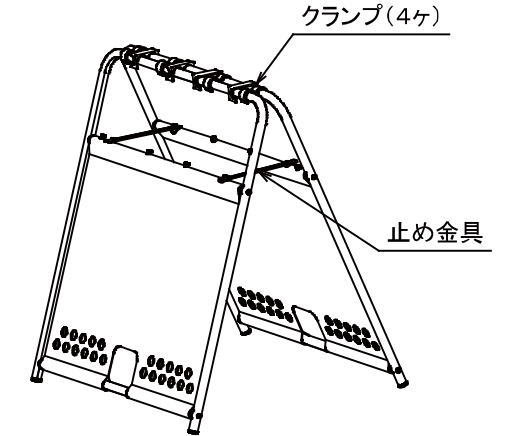
上側のクランプ
クランプを押下げて
ロックしてください。

下側のクランプ
クランプを押上げて
ロックしてください。

クランプ操作方法

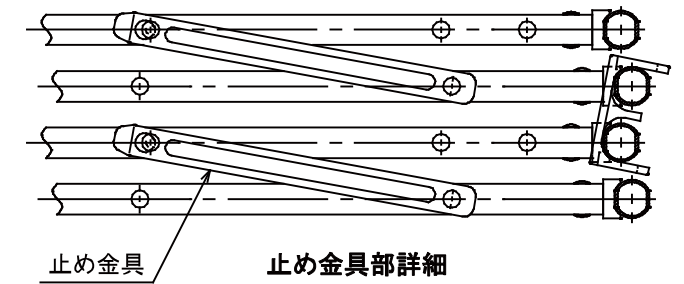
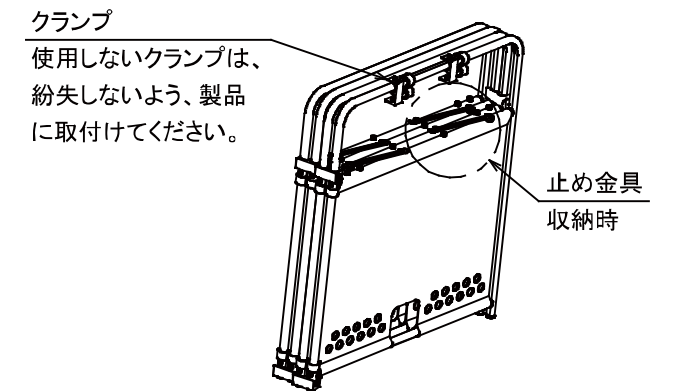
2. 三角表示板設置方法

図のようにクランプを取付け、止め金具を掛けてください。
止め金具を掛けないと自立しません。



3. 収納方法

図のように止め金具を掛けてください。



ピカ コーポレイション

〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-4-10

ナビダイヤル 0570-064065 (土日・祝祭日を除く9:00~17:00まで)

■ホームページアドレス <http://www.pica-corp.co.jp>

733050101478

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

P10.08